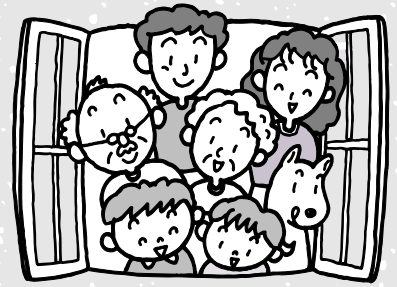


市民のひろば



お便りには必ず住所、氏名、年齢、学校・学年、電話番号を記入してください。ファクス25-0263、インターネット目安箱 meyasu@city.tsuyama.okayama.jpでの応募も受け付けています。

わたしもひとこと

ごみを出すときは考えて

ごみの分別は市民にも浸透したいへん喜ばしいことです。

しかし、一部の人が容器を洗わずに出している

ため、いやなにおいが出て移動するたびに汚れた液が出て困ります。とくに猛暑の時期、収集に携わる人たちの気持ちになり、自分のできることから気をつけて、住みよいきれいなまちをめざしたいものです。(山方・女性)

ごみ減量に励んでいきます

津山に引越して来て4か月。津山の人たちが団結してごみ対策に取り組んでいる姿に驚くばかりでした。私も少しでもごみを減らそうと日々努力しています。

スーパーマーケットに買い物に行くときは、毎回マイバッグを持って行

き、エコシールを集めています。そのとき、景品の種類がもう少し増えないかなあと思うのですが、せめて可燃物用ごみ袋も景品の1つに加えていただけたらと思います。(総社・女性)

公園は大切に使う



天気の良いときは公園に遊びに行っています。最近のことです。シーソーにガムがべったり付いていました。3歳の長男がそれを見て、「みんなが遊ぶものなのに遊べない」と言いました。子どもは公園が大好きです。遊具

犬・猫の里親制度はありますか？

飼っていた犬が死んでしまい、現在、子犬を探しています。津山市では子犬・子猫の里親探しのようなことはしていませんか？(一宮・男性)

現在、市主催での里親探しは実施していませんが、津山保健所動物管理係(☎23 0108)では、里親希望の人の予約を受け付けて適切な犬が見つかった場合には、順番に連絡をして引き取っていただいているとのことです。市健康増進課

も大切にしてほしいと思います。(総社・女性)

ご意見、クイズ、イラストは左のあて先へどうぞ。見本のとおり書いただけで着きます

津山市役所
行政広報室
〒708-8501

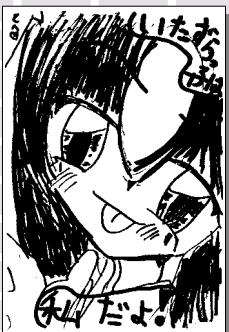
みんなの絵



草刈 燎
(小学6年・二宮)



實近 かなみ
(小学2年・上横野)



神田 祐希
(小学4年・野介代)



ペンネーム・Kタロー
(小学5年・下田邑)



ペンネーム・白(中学1年・小原)



塚本 紗恵子
(小学2年・小原)



ペンネーム・いのつち
(小学3年・志戸部)

こどもは 高校生まで 色は白黒。サインペンなどでかく
えんぴつ 鉛筆・ボールペンはダメ。テーマは自由
さいしゅうめい さあ 採用分には記念品を差し上げます
おてしやうば なまえ がくねん ねんげい か
はかきの表に住所・名前・学年(年齢)宛書く
ペンネームもOKです 敬称略



お父さんロックバンド「Wizard」
代表 **角野 功一さん(弥生町)**

「Wizard」の結成は、8年前、鶴山小学校ふれあい祭りでお父さんたちにも何かできることはないか、「ママさんコーラス」があるのだから「お父さんバンド」があっても...と、メンバーを募集したのが始まりでした。集まったのは、児童のお父さんや先生など6人。転勤により先生とは学校も別れてしまいましたが、現在も鶴山小学校を拠点に活動を続けています。

演奏する曲は、アニメや自分たちが若いときにはやっていたお気に入りの曲など。自分たちも子どももいっしょに楽しめる演奏を心がけています。小学校行事のほかにも、子ども会や商店街行事、音の城まつり、市民音楽祭などへと活動の場を広げて楽しんでいます。7月にソシオ一番街に開設された「まちなか・子ども基地」のオープニングにも参加し、アニメソングでみんなと盛り上がりました。

これからも子どもたちや地域の人たちに長く愛されるバンドとして、地元で溶け込んだ活動を続け、まちの活性化の役に立ちたいと思っています。

津山城の
グラフィ誌に
感心

広報つやま6月号といっしょに届けられた津山城のグラフィ誌は「要保存」ですね。四季折々の写真もきれいで、それぞれの時期に足を運んでみたいと思いました。また、豆知識やゆかりの地など知らなかったことばかりで感心し、さまざまな歴史に支えられて現在があると感じました。ちょうど近くに史跡の1つ、中山神社があるので行っ

てみようと思います。住んでいるところには一般的に意識が向きにくいといわれていますが、地元も調べてみるとなかなかおもしろそうですね。(東一宮・女性)

広報6月号と同時にグラフィ誌「津山城 よみがえる郷土の誇り」が届きました。身近な風景に在りし日の城郭を重ね合わせ楽しんでいきます。備中櫓の復元完成が待ち遠しいです。(高野本郷・男性)

広 報 ク イ ズ

問 津山洋学資料館特別展「素晴らしき津山洋学の足跡」は、何月何日から始まる？

応募方法 答えのほかに必ず、日ごろ感じていること、記事の感想、市政に対する要望など、何でも書き添えてください。(広報紙やホームページなどに匿名で紹介させていただきます)正解者の中から抽選で5人に図書券を贈ります。

締め切り 9月10日(金)当日消印有効

発 表 広報つやま10月号

6月号当選者 応募20人、正解20人

久保 麻美さん、後藤 初恵さん、初川 宣子さん、藤田 美江さん、前原 孝子さん

6月号の正解 鶴山塾

私の
おすすめ



きり
「桐の木水車」を次の世代へ

桐の木水車講演中 代表 **竹内 孝さん(勝部)**

水車は、昭和30年ごろまではどこの村でも共同で管理されていたものです。しかし、精米機の普及や風雪などによる傷み、倒壊により水車は次第に姿を消していき、現在津山に残っている共同米つき水車はこの「桐の木水車」だけになりました。

昭和11年に建設されて以後、何度か地元や有志の人々によって修理され現在に至りました。平成6年には津山ふるさと景観賞奨励賞を受賞し、津山のすぐれた景観となっています。

水車は日本ののどかな田園風景の1つで、昔ながらの生活を静かに伝えてくれるもの。現在まで多くの人々によって守られてきた「桐の木水車」を、これからも大切にして次の世代に伝えていきたいものです。



「桐の木水車の会」会員(1口1,000円)を募集しています。お問い合わせはエコネットワーク津山☎22-7656へどうぞ。



(4歳) 井上 希帆
志戸部)



(小学1年) 赤田 優花
林田)



(小学6年) ペンネーム・川崎)

